



第19期 株主通信

2015年4月1日 ～ 2016年3月31日

JM ジャパンマテリアル株式会社

証券コード：6055

ジャパンマテリアルのご紹介

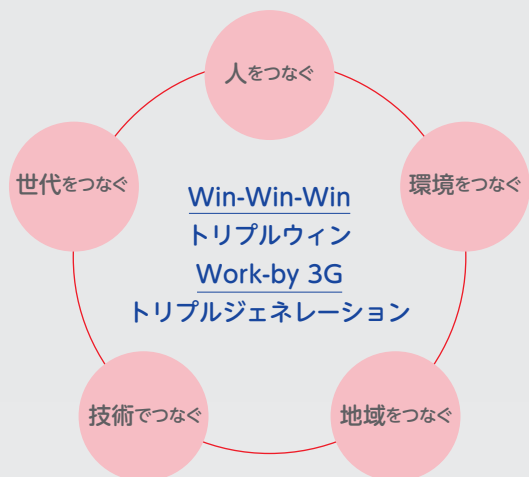
■経営ビジョン

Win-Win-Win(トリプルウィン)

Work-by 3G(トリプルジェネレーション)

■特徴

- ・当社は、「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」を企業理念とし、安全・安心を基軸とした「安全最優先」の意識のもと、お客様の期待を超える質の高い商品やサービスを提供しております。
- ・半導体及び液晶関連工場向けにインフラ設備事業を展開しているエレクトロニクス関連事業、画像・映像・放送に関わる画像処理製品の販売・保守を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として事業を展開しております。



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳～70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

事業紹介

グラフィックスソリューション事業



グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージ関連商品などの販売・サポートを行っております。
小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビションなど幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送用ビデオ機器などの販売・サポートを行っております。
地方局やポストプロダクションで採用されています。

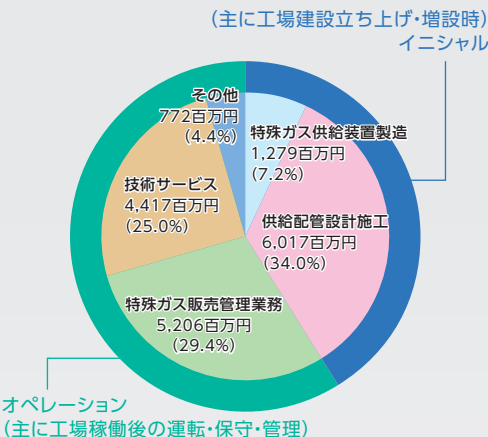
3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

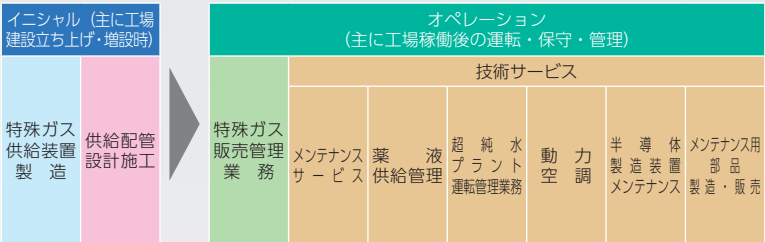
エレクトロニクス関連事業

事業内容

エレクトロニクス関連事業 内訳

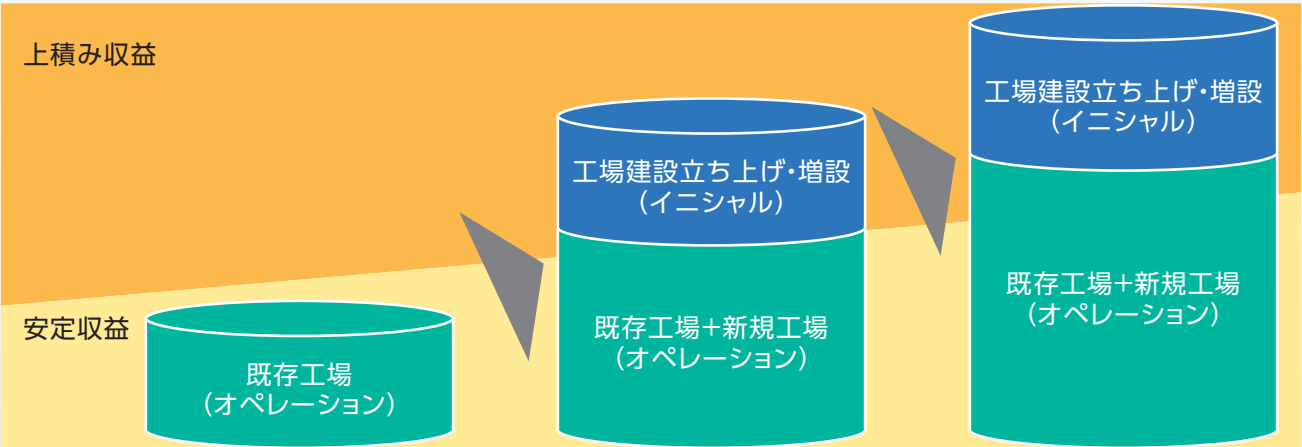


主に半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。更にお客様工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等での技術サービスを提供しております。



ビジネスモデル

お客様にご満足いただけるサービスを提供することで、既存工場でのサービス領域拡大や、工場新設・増設における稼働後のオペレーション業務の獲得により、オペレーション業務で継続的に収益を得る「階段状」の収益構造を構築。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、ここに当社グループの第19期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の営業の概況と決算についてご報告申し上げます。

当期の業績についてお聞かせ下さい。

2016年3月期	売 上 高	187億42百万円
	経 常 利 益	41億 8百万円
	親会社株主に帰属 する当期純利益	26億92百万円

当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門は半導体工場及び中小型ディスプレイ工場における設備投資が実施されたことから好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門につきましても、半導体工場での生産活動が順調に推移したことに加えて、半導体製造装置メンテナンスが本格稼働したことで好調に推移し、中小型ディスプレイ工場においては事業範囲が拡大したことでオンサイト事業が好調に推移しました。また、国内及び海外での特殊ガス販売が好調に推移したことに加えて、当連結会計年度より新たに開始した半導体製造装置メンテナンス用部品の製造販売が寄与したことにより、売上高及び利益は好調に推移しました。

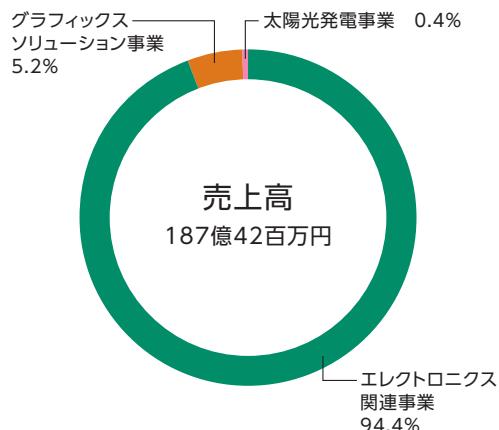
グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイネージ向け販売が好調に推移し、放送業界向け3Dキャラクタージェネレーターの販売拡大など積極的な営業展開を継続したことにより売上高は順調に推移しました。

太陽光発電事業では、従前の太陽光発電所に加え、3ヶ所目となる1.5メガワット相当の太陽光発電所が平成28年2月に稼働し出力合計3.9メガワット相当となりました。

以上の結果、業績に関しては右記のとおりになりました。



代表取締役社長 田中久男



次期の見通しについてお聞かせ下さい。

トータルファシリティマネジメント(TFM)の充実による安定収益基盤の強化

当社グループが属する半導体業界におきましては、車載向けやデータサーバー向けの需要が市場をけん引するものと予測されます。また、中小型ディスプレイ業界におきましては、スマートフォン向けの有機ELや車載向けの需要が市場をけん引するものと予測されます。

このような状況の中、当社グループにおいては、事業領域を拡大するため、新規顧客の開拓や既存顧客における事業範囲の拡大を積極的に行い、受注拡大を図ってまいります。

エレクトロニクス関連事業におきましては、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント(TFM)」を活かして他社との差別化を図るとともに、半導体製造装置メンテナンスの事業領域を拡大し、お客様

の期待以上の価値を提供できる提案を強化することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、イニシャル部門では、主要顧客における大型設備投資の継続的な実施が予測されることに伴い、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、パソコン関連部品であるマルチディスプレイ用グラフィックボード、リアルタイム3Dキャラクタージェネレーターの販売拡大はもちろん、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションを提供するとともに、スマートフォンと連動し情報提供する新たな試みなど積極的な営業活動を展開することで新規顧客を獲得し事業拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

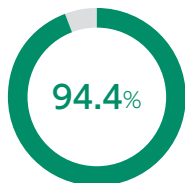


事業概況

Business Overview

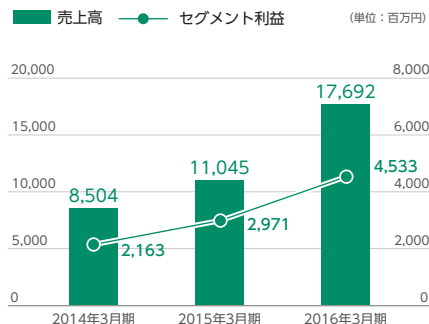
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



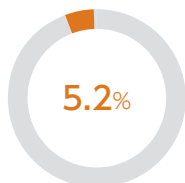
売上高	176億92百万円 (前年同期比 60.2% 増)
セグメント利益	45億33百万円 (前年同期比 52.6% 増)

国内主要顧客において設備投資が継続的に実施され受注が増加
半導体製造装置メンテナンス事業が本格稼働
特殊ガス販売管理業務、技術サービス等のオペレーション部門が好調に推移



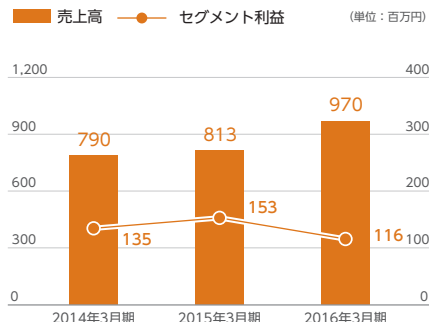
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



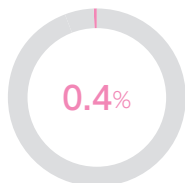
売上高	9億70百万円 (前年同期比 19.3% 増)
セグメント利益	1億16百万円 (前年同期比 23.6% 減)

デジタルサイネージ向け販売が好調
3Dキャラクタージェネレーターの販売拡大
事業拡大のための体制強化や将来的な販売拡大を図るための設備投資を実施



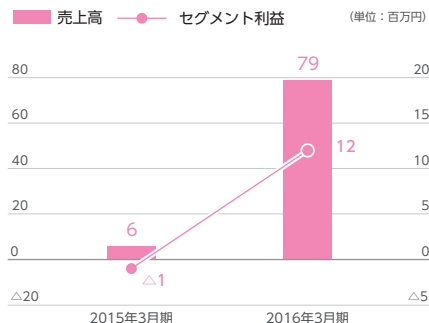
太陽光発電事業

事業別売上高比率



売上高	79百万円 (前年同期比 1,131% 増)
セグメント利益	12百万円 (前期は損失 1 百万円)

平成27年10月に2.0メガワット相当及び
平成28年2月に1.5メガワット相当の太陽光発電所が稼働



連結財務データ

Consolidated Financial Data

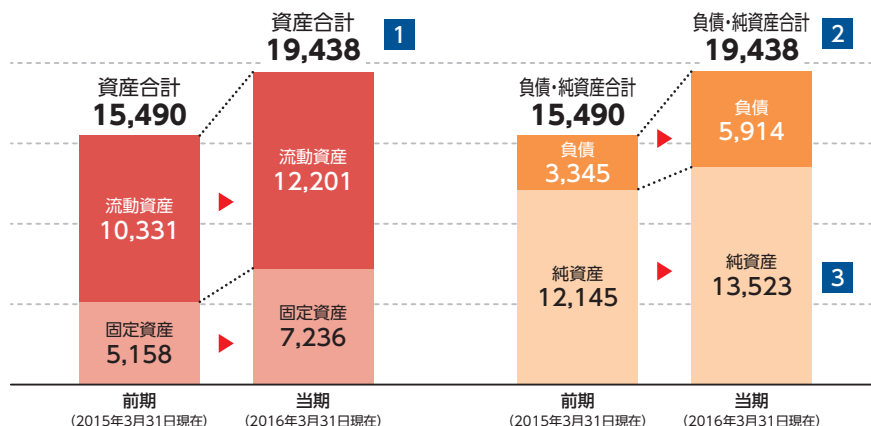
詳細情報は

ジャパンマテリアル IR

検索

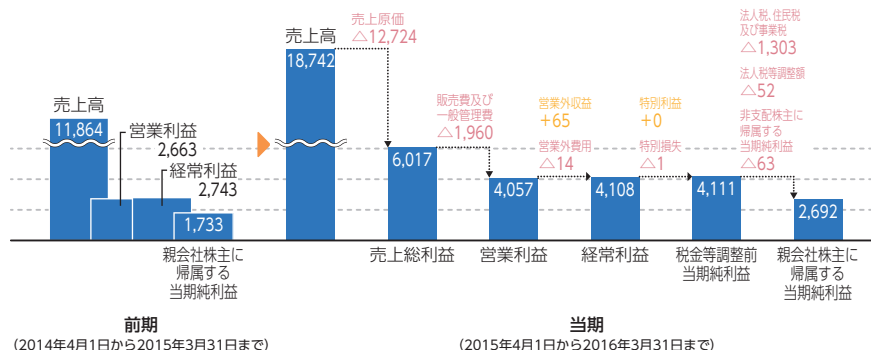
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



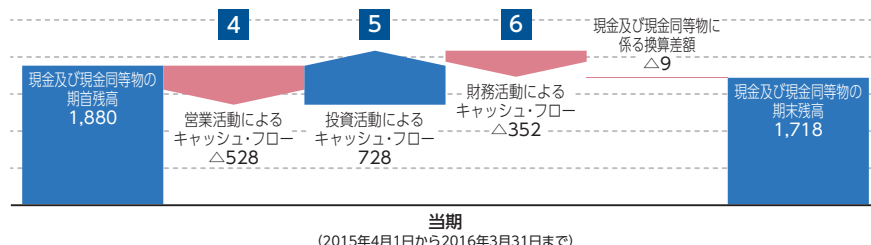
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

資産合計は194億38百万円となり、前期末に比べ39億47百万円増加しました。主に売上債権やたな卸資産等の流動資産、差入保証金等の固定資産が増加しました。

2 負債合計

負債合計は59億14百万円となり、前期末に比べ25億68百万円増加しました。主に仕入債務、短期借入金等の流動負債が増加しました。

3 純資産合計

純資産合計は135億23百万円となり、前期末に比べ13億78百万円増加しました。主に自己株式の取得により減少した一方で、利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

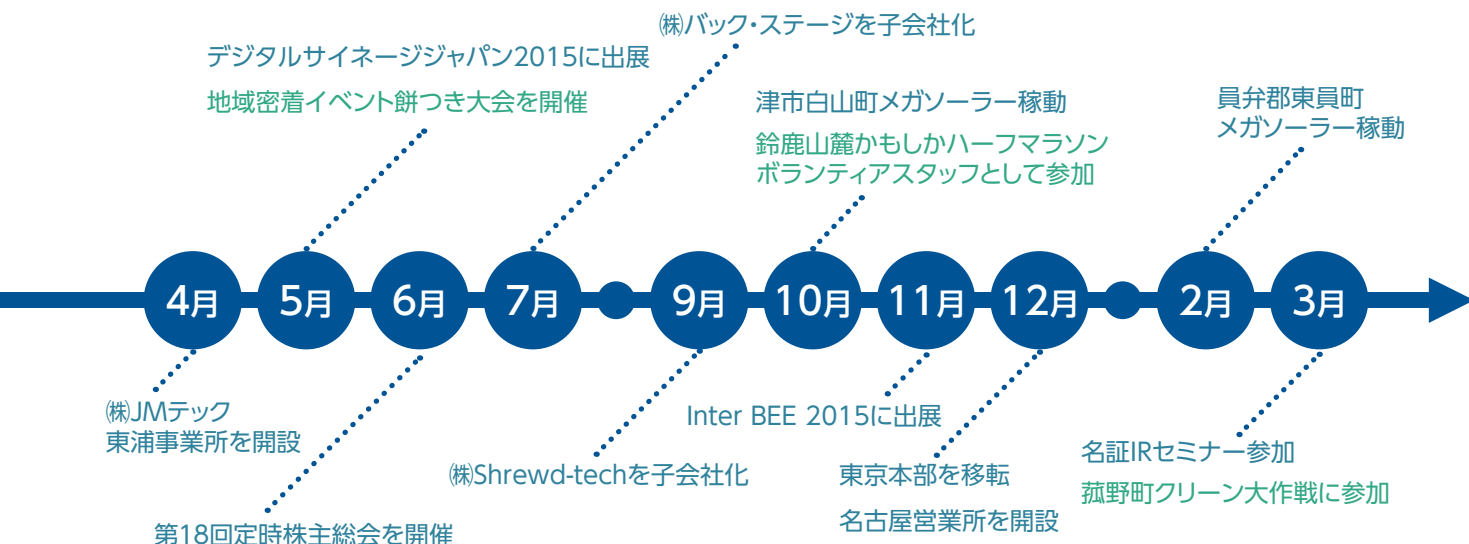
収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益41億11百万円、仕入債務の増加10億39百万円であります。支出の主な内訳は、売上債権の増加20億30百万円、差入保証金の増加12億89百万円、たな卸資産の増加11億55百万円、法人税等の支払額10億46百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主なものは、定期預金の払戻による収入19億円であります。支出の主なものは、有形固定資産の取得による支出11億39百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

収入の主なものは、短期借入金の増加9億53百万円であります。支出の主な内訳は、自己株式の取得による支出8億52百万円、配当金の支払額4億37百万円であります。



伊勢志摩サミット応援 プロジェクションマッピング実施

NEMU HOTEL & RESORT 「HOTEL NEMU」様館内にて、三重県ならびに伊勢志摩の素晴らしさを国内外の旅行者様へご紹介するプロジェクションマッピングの投影を実施しました。

湾曲した窓ガラスにフィルムを貼り、サイネージプレーヤー「BrightSign」が再生する映像を4台のプロジェクターで幅約12m、縦1.5mのサイズで投影し、静謐で厳かな伊勢神宮や、風光明媚なリアス式海岸をはじめとする豊かな自然など魅力あふれる映像で紹介し伊勢志摩サミットを盛り上げました。



東京タワー大展望台にてBrightSignが採用

(株)夢現舎様と共同で、スマートフォンと連携するデジタルサイネージシステムを開発し、東京タワーの大展望台にてビーコンを活用した「東京タワー景観案内アプリ」とデジタルサイネージが連動し情報提供する新たなサービスに採用されました。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の外国人観光客(多言語によるインバウンド)対応に向けたサービス施策です。

「東京タワー景観案内アプリ」がインストールされたスマートフォンが近づくと、BrightSignによりコントロールされたデジタルサイネージが起動し、サイネージにスロットが表示され、季節イベントにちなんだ期間限定のデジタルコンテンツをプレゼントしております。



「BrightSignNetwork.jp」を開始

デジタルサイネージプレーヤー「BrightSign」を管理するための新サービスとして、「BrightSignNetwork.jp」を開始しました。「BrightSignNetwork.jp」は、クラウド型ネットワークソリューションで、遠隔地からコンテンツなどをアップロードできるリモート機能、デジタルサイネージプレーヤーの接続状態の確認機能のほか、複数台のデジタルサイネージプレーヤーをグループ化してコンテンツやスケジュール管理できるなど多彩な機能を搭載しております。



太陽光発電所の開設

三重県員弁郡東員町に最大出力約1.5メガワットの大規模太陽光発電所を建設し、2016年2月から稼働いたしました。7,000枚を超える太陽光パネルが約180万kwh(一般家庭約400世帯分の年間消費電力量に相当)の電気を作り続けます。

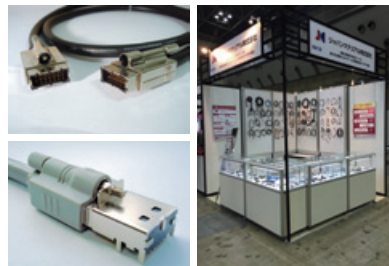
事業活動で使用するエネルギーを削減し環境に優しい事業活動を推進しておりますが、メガソーラー発電所の建設によって再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。



「Medtec Japan 2016」に出展

東京ビッグサイトで開催された医療機器の製造・設計に関するアジア最大の展示会「Medtec Japan 2016」に出展し、Total Technologies社独自の映像や制御信号を1つにまとめたオールインワンケーブルや、抜け防止機能付のコネクターなどの特殊なケーブル製品を展示しました。

同社は、グローバルに24件の特許を取得しており、75,000種類を超える多様なデザインを提供しているメーカーで、ケーブルはコネクター強度が高く、品質にばらつきが無く、ノイズ表示や伝送エラーが少ないのが特徴です。



会社情報

Corporate Data

会社概要(2016年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証一部、名証一部
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)747名、(単独)212名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
本店所在地：〒510-1311 三重県三重郡菟野町永井3098番22

関係会社(2016年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市堺区	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	静岡県浜松市中区	19	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾台中市	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業
株式会社バック・ステージ※	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業

※非連結

役員(2016年6月29日現在)

代表取締役社長 田 中 久 男
常務取締役執行役員 深 田 耕 志
取締役執行役員 長 谷 圭 祐
取締役執行役員 小 川 圭 造
取締役執行役員 坂 口 好 則
取締役執行役員 門 脇 宏 八
取締役執行役員 田 中 智 和
社 外 取 締 役 町 田 和 彦
社 外 取 締 役 大 島 次 郎
常 勤 監 査 役 喜 多 照 幸
社 外 監 査 役 安 井 広 伸
社 外 監 査 役 春 馬 葉 子

執 行 役 員 西 村 辰 彦
執 行 役 員 森 正 勝

グループネットワーク

海外

【台湾】

茂泰利科技股份有限公司



【シンガポール】

ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD



ジャパンマテリアル株式会社

本社工場
四日市事業所
四日市TGM事業所

㈱東和商工
㈱JMテック
㈱クスノケミコ
㈱JMエンジニアリングサービス

㈱JMエンジニアリングサービス
広島事業所

㈱東和商工
大牟田事務所

石川事業所
㈱JMテック能美事業所
川北事業所
白山事業所
㈱PEK能美事業所

茂原サービスセンター
㈱JMテック茂原事業所

㈱PEK
堺事業所
名古屋営業所
㈱JMテック東浦事業所
東京本部
㈱バック・ステージ
㈱シーセット

株式情報

Stock Information

株式の状況(2016年3月31日現在)

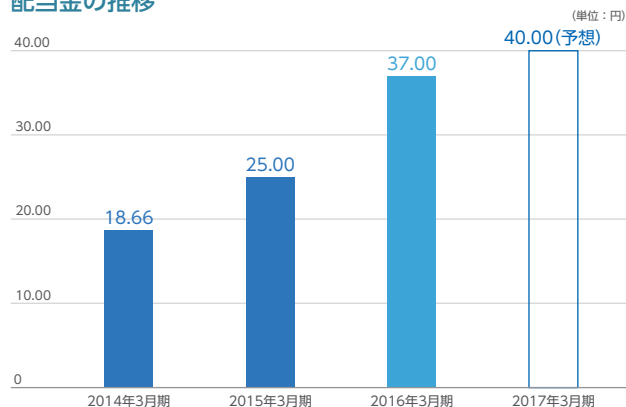
発行可能株式総数	54,000,000株
発行済株式の総数	17,108,885株(自己株式416,035株を除く)
単元株式数	100株
株主数	2,999名

大株主の状況(2016年3月31日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
田中 久男	3,385,500	19.8
田中 智和	2,616,400	15.3
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,898,900	11.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	802,200	4.7
喜多 照幸	726,360	4.2
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	480,000	2.8
株式会社百五銀行	360,000	2.1
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	358,800	2.1
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	345,500	2.0
JMグループ従業員持株会	339,700	2.0

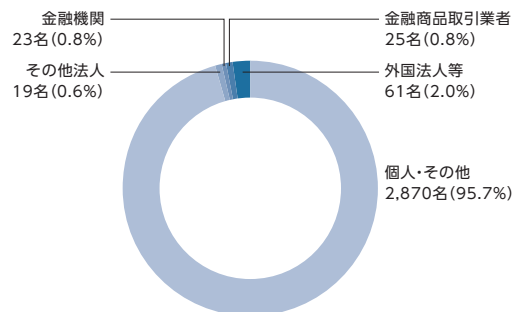
(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(416,035株)を控除して計算しております。

配当金の推移

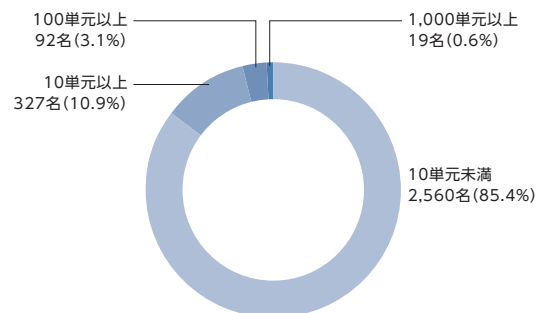


2014年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。

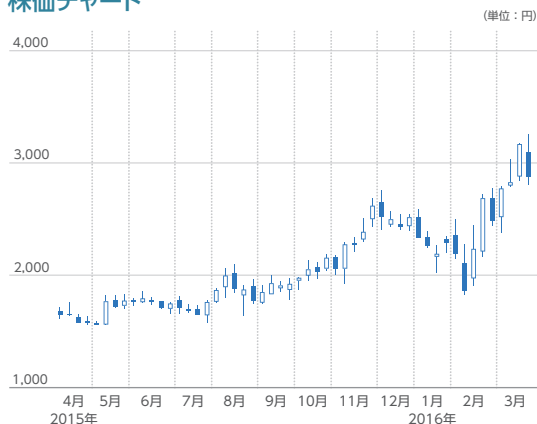
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株価チャート



株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくため株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元（100株）以上保有されている株主様を対象に下記の通りQUOカードを贈呈いたします。

保有株式数	優待内容
5,000株以上	クオカード 5,000円分
1,000株以上 5,000株未満	クオカード 3,000円分
100株以上 1,000株未満	クオカード 1,000円分



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**配当金受領
株主確定日** 3月31日（期末配当）

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内

**株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

IR情報トップページ



ホームページで最新情報を提供

当社のホームページでは、会社情報、各事業情報、CSR情報等に加え、充実したIR情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.j-material.jp/>

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22

TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828

<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。